

## ▶▶▶ 氷川町

ひかわ「おもてなし」  
プラン

道の駅竜北と竜北公園

## 分類 農業・産業関連

〈SDGs〉関連するゴール



## 総事業費

(関連事業ごとに計上)

## 計画期間

2021年4月1日～2025年3月31日

## 数値目標

- 物産館売上実績額……………2.6億円
- 新商品(特産品)販売実績額…83万円
- 観光入込客数……………900,000人
- 観光消費額……………2,350,000千円

## 食と観光が一度に楽しめます。

氷川町の特産品には、皇室献上されたことのある「吉野梨」や八代地域特産である「晩白柚」をはじめとする柑橘類のほか、平野部で生産されている「和鹿島いちご」などがあり、いずれも県内有数の産地となっています。

また、これらの特産品を含む農作物や、その加工品の販売拠点である「道の駅竜北」は、国道3号沿いで九州自動車道「宇城氷川スマートインターチェンジ」から数分の好立地にあり、そのアクセスの良さから休日には多くのお客様でにぎわっています。

さらに、道の駅竜北からひのきみ歩道橋を渡った先には、126mのローラースライダーがおすすめの「竜北公園」があり、買い物だけではなく、お子様連れのお客様にも「食べもの」と「観光」を一度に楽しんでいただけるシチュエーションになっています。



## ここがポイント

道の駅竜北から車で10分ほど足をのびした先には、高さ75m、幅250mにわたる岸壁が有名な「立神峡里地公園」があります。公園内にはキャンプ施設が整備されており、夏には水遊びを目当てにした多くのお客様でにぎわいを見せています。



つり橋から見る景色もおおすすめです。